

ごあいさつ



岡山県では、「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」に基づき、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現を基本目標に県政を推進しているところです。

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、我が国の医療提供体制に多大な影響が生じ、救急医療をはじめ、地域医療の様々な課題が浮き彫りとなり、地域における入院・外来・在宅にわたる医療機能の分化・連携等を行う重要性や、地域医療全体を視野に入れて適切な役割分担の下に必要な医療提供を行う重要性などが改めて認識されました。

このような中において、人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化に対応した医療提供体制を維持するためには、地域医療構想の取組を着実に進めるとともに、医療従事者の確保などに、中長期の視点も持ちながら一体的に取り組んでいく必要があります。

このたび、こうした状況を踏まえ、本県のあるべき保健医療体制の整備を推進するため、介護保険事業支援計画等と整合を図りながら、「第9次岡山県保健医療計画」を策定いたしました。

本計画では、新たに新興感染症発生・まん延時における医療を加えた5疾病・6事業及び在宅医療等の医療連携体制の充実や医療従事者の確保に取り組むとともに、地域医療構想の実現と医療・介護の連携強化による地域包括ケアシステムの深化・推進に力を注ぎ、限られた医療資源を効果的・効率的に活用しながら、住民・患者の視点に立った医療情報の提供や、疾病の予防から治療、リハビリテーション、介護まで、地域におけるより良質で効率的な保健医療体制の確立を目指すこととしております。

本計画に掲げたさまざまな施策は、県民一人ひとりの健康づくりの実践や関係の皆さまの意欲的な参画があってこそ、その成果が得られるものです。県民の皆さまをはじめ、市町村、関係機関・団体の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定に多大なご尽力を賜りました岡山県保健医療計画策定協議会及び各圏域保健医療対策協議会の委員の皆さまをはじめ、関係各位並びに貴重なご意見をいただきました県民の皆さまに、心から感謝申し上げます。

令和6年4月

岡山県知事 伊原木 隆太